

# ステップ

令和4年2月28日  
秋田県立稲川支援学校  
進路指導部 発行

「ステップ11号」では、高等部での進路学習について紹介します。

高等部での進路学習は次のことを目標にし、学年ごとにテーマを設け、生徒の実態や課題に応じて学習内容を考えています。進路学習は「職業」や「生活単元学習（進路）」の時間を中心に行っています。

## 目標

- ・生徒自身が自分の将来や自分の在り方、生き方を考え、「自己決定」できる力を高める。
- ・卒業後の生活にスムーズに移行できるように、社会生活について知識や理解を深める。
- ・安心して地域生活に移行できるような環境を整える。

## テーマ

学 年	テーマ	指導の形態
1年生	進路に興味をもつ、知る	生活単元学習（進路）
2年生	進路について考える、深める	生活単元学習（進路）、職業
3年生	進路を具体化する	

## 1年生

入学して間もなく「素敵な社会人とはどんな人か」生徒たちに意見を聞きました。「優しくて思いやりがある」「明るく前向き」「挨拶ができ礼儀正しい」「ルールやマナーを守れる」「最後まで仕事をする」などたくさんの意見が出ました。みんなが思う「素敵な社会人」を目指して学習してきました。

職場見学をしたり先輩たちの進路先や実習先について学習したりすることで、「どんな進路先や仕事があるのか」「仕事内容によってどんな力が必要なのか」が分かりました。「働くために必要な力」が分かったことが「自分の得意なこと」「自分が付けたい力」について再確認するよい機会となりました。

また、生活する力を高めることを目的に「掃除機掛け」「洗濯」について取り上げ学習しました。自分ができることについて考え、「やってみよう」「将来の社会生活を充実させよう」という気持ちをより高める1年間となりました。



## 2年生

2年生では、アンテナショップ運営活動に取り組んでいます。新型コロナウイルスの影響で十分な活動ができませんでしたが、今年度は3年生に発注から納品までの流れを教えてもらい、7月から2月まで活動しました。各作業学習班と連携した商品管理、運営当日の時間管理、お金の計算やお客様とコミュニケーションをとりながらの商品のPRなど、ショップ運営に関する様々なことを学習しました。



また、毎週木曜日に行っている「定期職場実習」に取り組んでいる生徒は、職業や福祉の学習を通して、実習の目標設定や振り返りを行っています。実習の様子を実習日誌や写真で振り返り、友達のよい点から自分の仕事に生かせる点を学んだり、課題や悩みの解決方法をみんなで考えたりして実習につなげました。



## 3年生

3年生は、卒業後に向けて「働く力」を身に付けるために、定期職場実習や湯沢商工会議所様からの委託作業、校内委託作業に取り組みました。今年度の定期職場実習は、新型コロナウイルスの影響から、少ない回数になってしまいましたが、前期・後期実習での課題解決に向けて、学校での事前・事後学習と合わせて社会生活に必要な知識や技能を深めました。委託作業は、依頼された仕事を、責任をもって丁寧・正確に仕上げることを意識して取り組みました。年間を通して取り組むことで、長い時間集中して作業する力や納期を意識して作業を進める力も身に付きました。

